

建材ガラス物流における 納品条件適正化に向けた ガイドライン

本ガイドラインの趣旨

建材ガラス業界が抱える物流課題に対応するため、効率的な物流の実現と適正な費用負担への理解を基盤に、発荷主事業者・着荷主事業者・物流事業者が連携し、従来の商慣習を見直して取引の適正化を図ることを目的とした共通認識を深めるための指針です。なお、本ガイドラインはあくまで参考であり、いかなる拘束力も有しません。各社の自主性を妨げるものではありません。

取り組み事項



荷待ち・荷役作業にかかる時間の短縮・効率化

荷渡し条件の適正化・明確化

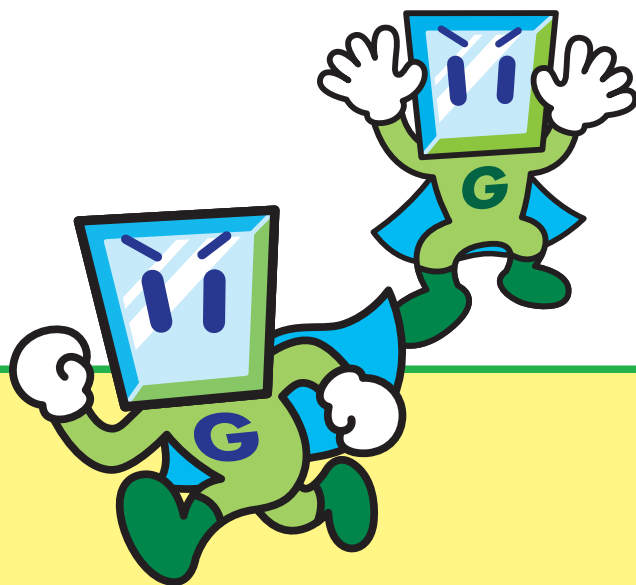
納品時は「輸送業務」と「荷役作業」を明確に区分し、車上渡しを基本としながら、関係者で協議し作業範囲を明確にすることを推奨します。

荷待ち・荷役時間の短縮

荷待ち時間や荷役時間を短縮するため、関係者間で協議することを推奨します。

現場の納品環境整備

着荷主事業者は待機場所や作業スペースなどを整備し、ドライバーの安全確保と効率向上に努める必要があり、詳細は関係者で協議して決定することを推奨します。



「建材ガラス物流における納品条件適正化に向けたガイドライン」については
板硝子協会のホームページでご確認いただけます。

<https://www.itakyo.or.jp/upload/meti-guideline.pdf?2025>



一般社団法人 板硝子協会

〒108-0074 東京都港区高輪1丁目3-13 03-6450-3926 <https://www.itakyo.or.jp/>



運行効率の向上

納品タイミングの指定方法

具体的内容は関係者間で協議を行うこととなりますが、時刻指定納品を時間帯指定納品に変更するなど、ドライバーの拘束時間短縮と運行効率向上を図ることを推奨します。

納品リードタイムの確保

標準リードタイムに沿った納期で発注することを推奨します。短納期を希望する場合は、対応可否や条件をメーカーや物流事業者の基準で判断されます。

納期の延期の対応

納期延期による保管や容器占有の延長で発生する物流費用は、関係者が協議し、内容と負担者を明確にすることを推奨します。

運転手の安全確保

天候不順や天災時には、運転手の安全を最優先し、無理な運送依頼は控えることを推奨します。

輸送効率向上の協力依頼

小ロット輸送への対応や納品時間帯の調整について協力を要請場合があります。対応や料金は発荷事業者となるメーカー各社とその物流事業者の基準に基づき判断されます。

共同輸送・共同回収の促進

必要に応じて、製品共同輸送や容器共同回収を検討することがあります。参加の可否や実施方法については、発荷事業者となるメーカー各社とその物流事業者の基準で判断されます。



対価の適正化

輸送と荷役の分離

輸送業務と荷役作業を分離し、料金の適正化を図ります。荷役作業の料金は関係者間で協議し、支払責任を明確にすることを推奨します。



容器回転率の向上



容器使用の適正化

容器はメーカーの資産であり、製品輸送と一時保管以外の使用は禁止されています。産業廃棄物処理法に則り、その他梱包資材（木箱、鉄バンド）の回収を行うことは出来ません。

容器適正使用の啓蒙活動

容器の適正使用を促すため、啓蒙活動（ポスター掲示やステッカー貼付け）を行い、不正利用が確認された場合は適切に対応します。

容器回転率向上の推奨

容器は速やかに返却することが推奨されます。問題発生時は各メーカーへ連絡するようお願い致します。

「建材ガラス物流における納品条件適正化に向けたガイドライン」については板硝子協会のホームページでご確認いただけます。

<https://www.itakyo.or.jp/upload/meti-guideline.pdf?2025>

